

# 檜枝岐小中学校 体育・保健体育科教育全体計画

## めざす児童生徒の姿

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇自ら進んで運動に親しんだり、喜びを味わったりすることができる児童。</li> <li>◇健康で安全な生活を営もうとする児童。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとする生徒。</li> <li>◇自ら健康で安全な生活を実践する生徒。</li> </ul>



## めざす児童生徒を育てる、9年間連続して取り組む学習スタイル

運動習慣の確立に向けた授業内容の工夫	体育の授業以外での体力作り	生涯を通して健康安全な生活を営むための基礎的な知識や技能への理解を深める
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習カードや教材教具の工夫を行い、児童生徒の興味関心を高める。</li> <li>○柔軟性・持久力・筋パワーを高める運動身体づくりプログラムの実施。(24年度新体力テストの結果から)</li> <li>○基礎的な技能の習得から専門的スキル、集団的スキルに結びつける授業展開の工夫。</li> <li>○班別、能力別学習を取り入れる場の設定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人の課題を把握させ、目標達成に向けて取り組ませることで、運動の日常化を図る。</li> <li>○校内の体育的行事や、郡・地区の陸上競技大会・駅伝大会への参加に向けて、計画的な取り組みを行い、運動の機会を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康観察、身だしなみの確認、施設・設備の安全確認やルールを守る習慣を身につけさせる。</li> <li>○養護教諭や主任栄養士と連携し、継続した生活習慣の確立や食に関する指導を行う。</li> <li>○養護教諭と連携して保健の授業づくりを進め、情報に惑わされない正しい知識を身につけさせる。</li> </ul>



## 改善すべき児童生徒の実態

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>■全体的に見て県平均および全国平均と同程度か上回っており、体力・運動能力は高いと言えるが、運動を苦手とする児童も見られ、個人差が大きい。</li> <li>■新体力テストより、筋力および柔軟性が全国および県平均に比べて下回っている学年がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新体力テストの結果より、筋持久力がやや低い。個人差が大きい。</li> <li>■少人数の中で育ってきているので、様々な情報が少ないため、保健学習を通して、異性の尊重や性情報、感染症などへの対処など、正しい知識、情報を教える必要がある。</li> </ul>